

事業所名 児童発達支援Iapoaie福岡

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人(事業所)理念	デザインとアイデアを正しく使い、世の中を幸せにする			
支援方針	専門的なアプローチに特化し、お子さまの「可能性」を引き出す			
営業時間	8 時	30 分	17 時	30 分まで
	送迎実施の有無		あり なし	
支援内容				
本人支援	健康・生活	<p>個別療育:子どもの健康と安全な生活を支援するため、健康状態、発達状態の把握を行います。また、それぞれのお子様に適した身体的、精神的、社会的練習を行います。支援者と楽しくふれあい安全な生活が送れるよう支援を行います。 【プログラム:健康状態を維持したまま、定期的に利用し運動したり寝たりと健康的な生活リズムを構築できるようにリハを実施】</p> <p>集団療育:子どもの健康と安全な生活を支援するため、健康状態の把握を行い、障害の特性に配慮しながらきめ細かな支援を行います。基本的な生活リズムや食生活の支援、病気予防にも取り組み、基本的な生活スキルの獲得を支援します。また、遊びを通じた学習を促進するために、生活環境を整え、障害の特性に応じて時間や空間を分かりやすく構造化します。 【プログラム:自由遊び、はじまりの会、道具の練習、休憩時間(トイレ誘導等)、クッキング活動】</p>		
	運動・感覚	<p>個別療育:専門の療法士が遊び等を通して視覚、聴覚、触覚等の感覚入力を促し支援します。また、日常生活に必要な基本動作となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を発達段階に合わせて支援を行います。 【プログラム:寝返り、ずり這い、四つ這い、つかまり立ち、伝い歩き、歩行などの順に運動学習を促すと共に触覚・聴覚・視覚・等の感覚に刺激を入れて受容器の構築を図る】</p> <p>集団療育:姿勢や動作の基本スキルを向上させ、補助員を活用して動きをサポートします。また、歩行器や車いすを使って移動能力を高めるサポートも行います。さらに、視覚や聴覚、触覚などの感覚を遊びを通じて十分に活用し、発達状況の把握を支援します。お子様の感覚の特性に応じて、環境調整などを行い、安心して過ごせるよう配慮します。 【プログラム:サーキット、ボール遊び、室内遊び、外遊び、風船遊び、体操、ルール遊び、指の体操】</p>		
	認知・行動	<p>個別療育:お子様の見る、聞く、触るなどの感覚を使って、周りの情報を取り入れられるようサポートし、認知力の発達を促します。また、環境から得た情報を理解し、次の行動につなげる力を育てる支援をします。また、おもちゃなどを使って形や色、音、数の違いを学び、それを行動に活かす力を育てます。さらに、こだわりや偏食などの特性に合わせたサポートも行い、情報を適切に処理する力を養います。 【プログラム:他者を認知したり、周囲の物・環境を認知し探索行動に繋がられるように、目的を持った発語へ繋げられるように関わりやりとり遊びをする】</p> <p>集団療育:見る力、聞く力、触る力を使って周りの情報をしっかり理解し、考える力を育てます。また、情報をもとに「次に何をするか」を判断し、行動に移せる力をサポートします。さらに、遊びや日常生活を通して、形や色、音、数などを楽しく学び、行動の手がかりにします。お子様の特性に合わせたサポートも行い、安心して成長できる環境を整えます。 【プログラム:言葉の練習、お勉強、道具の練習、感覚遊び、製作、指の体操、クッキング活動】</p>		
	言語コミュニケーション	<p>個別療育:お子様の成長される速度・興味・好みに応じて、一対一の遊びの中で言語習得や自発的な発声を促すために、物や経験と言葉の関連付けを行う支援や、口頭言語や文字・記号を使って意図を理解し伝えるための支援を提供しています。伝わる楽しさ・やり取りの重要性を、より個別療育という環境の中でわかりやすく取り組んでおります。 【プログラム:発語向け、スタッフの口や顔の動きを模倣しコミュニケーション能力向上を目的に手遊び歌や他者と物を共有する等のやりとり遊びをする】</p> <p>集団療育:同世代のお友達との集団行動中で、相互作用を通じてコミュニケーション能力を向上させる取り組みや、指差しや身振り、サインなどを活用し環境の理解と思いの伝達ができるよう支援する取り組みも行っています。 また、就学前の準備として読み書き能力の向上を目指し、読み書き障害の子どもたちにも適切な支援を提供しています。 【プログラム:自由遊び、始まりの会、言葉の練習、お勉強、感覚遊び】</p>		
	人間関係社会性	<p>個別療育:子どもが他者との関係を築き、社会性を育むための総合的なサポートを提供しています。愛着行動を通じて信頼関係を基盤に他者との安定した関係を形成する支援を行います。遊びを通じて他者の行動を模倣することで、社会性や対人関係の発達を促します。感覚や運動を使った遊びから、ごっこ遊びなどの象徴的な遊びに移行することで、子どもの社会性を育てます。 【プログラム:他者と物や時間・環境を共有することで他者関心をのぼしていくとともに、協調性を持てるようやりとり遊びを行う】</p> <p>集団療育:一人遊びから協同遊びへと進み、ルールを守りながら他者と協力して遊ぶことを学びます。さらに、大人のサポートを通じて自己の行動や感情を理解し、調整する力を身につけ、感情のコントロールができるよう支援します。最後に、集団活動に参加するための手順やルールを理解し、集団の中での適切な行動を促すサポートを行います。 【プログラム:自由遊び、始まりの会、言葉の練習、おやつ買いイベント、ルール遊び、クッキング活動】</p>		
家族支援	<p>個別:子どもの発達に応じた支援を提供し、保護者の不安や悩みに寄り添うことで、信頼関係を構築します。専門スタッフが家庭の状況や子どもの特性に配慮しながら、発達上の課題に気づきを促し、適切なアドバイスを行います。子どもの成長に合わせた療育計画を定期的に見直し、家族全体の支援体制を強化し、保護者が子どもとの接し方に自信を持てるようサポートします。集団:子どもが他者との関わりを通じて成長できる環境を整え、家族が子どもの社会性発達を理解しやすくする支援を行います。保護者へのフィードバックを重視し、子どもの集団での行動や課題を共有し、家庭でも活用できる方法を提案します。また、他の家族との交流機会を設け、支え合えるネットワーク作りを促進します。集団での経験を通して家族が子どもの成長を実感できるようにサポートします。</p>	移行支援	<p>初めての入園または、通園先の保育園・幼稚園と関係機関連携を実施します。その際に運動発達の状況などお子様の発達段階を園の先生へ詳しくお伝えします。その後も定期的に訪問し園の先生との情報交換を行い、お子様が安心して園を中心とした地域生活を送れるように支援を行います。また、園でお子様安心して過ごせるように環境調整や見通しをもてる声掛け等を先生方と共有します。またお友達との関わり方や集団参加を促せるよう支援を行います。 【子育てサポート加算、家族支援加算、関係機関連携会議などの加算】</p>	
地域支援・地域連携	<p>子どもの特性に応じた支援を地域全体で連携して行い、保護者や家族を中心に据えた包括的なサポート体制を構築します。地域の保育所や医療機関と協力し、個別ケースの会議を定期的に開催や地域の子育て支援機関と連携し、子どもが地域で適切な支援を受けられる環境を整え、個別のニーズに対応しつつ、地域全体の支援ネットワークを強化できるよう支援を行います。</p>	職員の質の向上	定期的な外部講師を招いての研修会、社内研修会の実施	
主な行事等	おやつ買いイベント、クッキングイベント、交通安全教室、かき氷イベント			